

教科名	数学	科目	数学 B (文系)	週授業時間	2 単位
-----	----	----	-----------	-------	------

1. 教科書および副教材・参考書

高等学校 数学 B (数研出版) 高等学校 数学 C (数研出版)
 4 プロセス II+B (数研出版) 4 プロセス C (数研出版)
 三訂版 ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B・C 受験編 (進学クラス)

2. 授業の目標および内容

数学B「数列」、数学C「ベクトル」の2単元を学習する。数学B「統計的な推測」は授業時間数の関係で数学IIの授業で扱う。

3学期は教科書範囲が終わり次第、数学II BCの総合演習を行う。進学クラスは主に基礎学力到達度テストに合わせた難易度設定で授業を行い、しっかりと学習すれば高得点が取れるように指導していく。また特進クラスでは、大学入試を主眼に置いて、授業の中でもできるだけ対策になるような演習を重ねていく予定である。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験	なし		第 1 回 9 月		第 2 回 2 月

内容・難易度について

- ① 定期試験：試験時間は50分とし、教科書の例題や練習問題に準じた問題を中心に出題する。
 授業中に実施したテストや副教材の問題集を利用して問題演習を中心に臨むことが大切である。
- ② 学力試験：試験時間は60分とし、授業の内容からやや発展させ、応用力を問う出題とする。試験範囲は原則として入学当初から学習した事全てとする。

4. 評価の視点

$$\begin{aligned}
 &1 \cdot 2 \text{ 学期} : (1 \text{ 次テスト素点} + 2 \text{ 次テスト素点}) / 2 \pm \alpha \\
 &3 \text{ 学期} : \text{期末テスト素点} \pm \alpha
 \end{aligned}$$

※ α は授業態度、提出物、小テスト等を考慮して決定する。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	【数学 B】 第 3 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 第 2 節 いろいろな数列 第 3 節 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・数列と一般項 ・等差数列／等差数列の和 ・等比数列／等比数列の和 ・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和 ・漸化式 ・数学的帰納法 	随時小テスト実施
	【数学 C】 第 1 章 平面ベクトル 第 1 節 ベクトルとその演算 第 2 節 ベクトルと平面図形 第 2 章 空間ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる成分 ・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形 (※ 2 学期で全て終わらない予定)	随時小テスト実施
3	【数学 C】 第 2 章 空間ベクトル 総合演習	2 学期で残った部分 数学ⅡBC 総復習	随時小テスト実施